

県本部例会 (2017.4.15)

平成27年度スタートをむかえる春の例会が4月15日(土)県民活動総合センターで13時15分から開催されました。年度賞表彰式があり、80名の出席者、単組あわせて前年を上回る155点の出品と盛況でした。



橋委員長挨拶

今年度から審査担当者の作品審査の間にオンライン講座が行われ、今回は林一先生の「最近の写真事」後は「作品としての写真」と題されたお話がありました。後の部分では

- 1、コンテストではまずプリント(仕上げ)で選ばれる。プリントで表現したいことを強めて見せていく。
 - 2、そのための用紙の選がある。作品の特性に合わせて、超光沢、光沢、光沢を選んでゆく。印画紙の選が終わったら、印画紙にあったレタッチを考える。
 - 3、タイトル「題名」が大事。内容に合った題名を考える。
- いずれにしても、ほかの人の写真をたくさん見る。などの点を考えながら、県例会を勉強の場として大いに活用してほしい。と話され、熱戦的な、わかりやすい講話が参加者に感を与えたようでした。

春の例会上位入賞者

○ 単写真の部

良棟

懇

良

大社北
小枚伸一

○ 組写真の部

幹

良

坂巻時子 越谷
竹川 義之 川越

林先生講話

組写真では女性の上位占が目立ち、性の差を願っていたところ
です。写真の色彩、光、構図と仕上げのフォトジックな、素晴らしい
作品が目立ちました。内容として心象的な作品で作者の思いをどう
伝えるか、レベルアップを要するところがまだあるように感じました。

次回:夏の県例会

7月 日(土)県民活動総合センター 13時15分～

オンライン講座

佐藤 正 「ネーチー」写真の表現について